

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2017-03-24

APM news 168

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第41回APM課外授業 長岡市立上組小学校・APM連携展覧会

「わたしたちのすむまち～スマイル百景～」 入館者数:85名



秋山孝ポスター美術館長岡(APM)は、長岡市立上組小学校(上組小)の校区内にある。上組小との連携した活動はAPMが開館した2009年より継続しており、今回の展覧会で24回目となる。活動内容は展示、講演、鑑賞、作品貸出等、多岐に渡る。また、秋山孝(APM館長、上組小卒業)個人との関係はAPM開館前の2000年にさかのぼる。「上組こだま美術館・秋山孝と子どもたち展」(2000年)、「美術とデザイン(講演)」(2000年)、「上組小学校課外授業・学校は美術館(講演)」(2001年)を行ってきた。

今回の展覧会は「わたしたちのすむまち～スマイル百景～」と題し、6年生74名が描いた絵を展示した。6年生はこの1年間、「総合的な学習の時間」において自分たちの住む地域と関わり、触れ合い、様々なことを学んできたことだろう。その上で地域を描いた作品を、地域の美術館であるAPMに展示し、地域への感謝の気持ちを伝えることを目的とした。

当日は家族や友人と共に6年生自身も来館者としてAPMを訪れた。改めて自分の作品を見つめ、家族に解説したり、友人の作品と比較するなどして美術館でのひとときを過ごした。今回展示した作品は、10月に一度上組小の芸術祭で展示されている。しかしAPMでの展示は、美術館に展示する美術品と同等に扱う点が異なる。6年生の絵画は1点ずつ手袋をして扱い、額に入れ、会場に設置した。秋山は美術館の役割について次のように述べている。「校内ではなく町の中に独立した美術館に作品を展示することで、生徒たちは自分の作品を客観的に凝視することになります。それは改めて作品を鑑賞する美術館という場だからです。そして鑑賞者の目にも晒され、自分の作品に対する自己批判が生まれます。それは自己認識、自主性、自立に繋がります。また美術館で同級生の作品を鑑賞することで、他者との比較をし、どういうメッセージが込められているのかを考えます。それにより作品を読む力が育ち、作品についての理解を深めることとなります。想像力はこのようにして生まれ、厳しさと深い思考力とともに次の創作へと向かうのです。実に豊かな人間性と柔軟な心を作り上げます。これが美術館の役割です。」

2016年度は4月のAPM見学を始めとし、10月の上組小第38回こだま美術館企画展「宮内・撰田屋百景展」、11月の第2回小学生美術館大学「才能に生きる一人旅」、そして今回の連携展覧会と、上組小6学年と4回の活動を行った。特に第2回小学生美術館大学は、「才能」をテーマとした講演であり、秋山が6年生と直接触れ合うことのできた数少ない機会であった。秋山の話が卒業を控えた6年生に与えた影響は大きかったようで、担当教諭から卒業文集に秋山の才能の話を書いた生徒がいたと同った。APMは今後も地域の美術教育に貢献していくため、地域の教育機関との連携を大切に考えていきたい。(森山奈帆・APM職員)